

たからっ子文芸だより

令和5年(2023年)

創刊号 7月31日発行

宝塚市教育委員会



ことばの森へ

長尾中学校 高阪 睦さん



玄関の金魚鉢。金魚が狭い中を元気に泳いでいる。ガラスにぶつかりそうになった時、踊るようにくるりと身をひるがえした。金魚の動きとともに水の色がきらりと輝きながら変わった。丁寧な観察が生んだ夏らしい一句。

この俳句は、昨年11月に開催した『ことばの祭典』の「中学生対象WEBで俳句」の部で入選した句です。宝塚の中学生が、スマホや学校のタブレットを使って投句してくれた3189句の中から選ばれた中学3年生(当時)の作品です。事務局で筆文字とイラストを添え、解説を加えてみました。

金魚の元気な動きが「水の色の変化」でみごとに表現されていますね。「ひるがえる」という言葉の選択が秀逸。

阪急阪神 ^{ホールディングス} H D と宝塚市との ^{ほうかつれんけい} 包括連携により、逆瀬川駅に宝塚市の子どもたちの文芸作品を ^{てんじ} 展示することになりました。この『たからっ子 ことばの森へ』は、その展示作品をはじめとして、宝塚市の子どもたちが表現する「ことば」について ^{しょうかい} 紹介していく「おたより」です。子どもたちの「ことば」は、おとながびっくりするほどの、^{すてき} ^{かんせい} ^{いろど} 素敵な感性に彩られています。宝塚市の子どもたち(たからっ子)の ^{つむ} 紡ぐことばを紹介していきますので、ぜひお読みください。



予告

下記は予定です。申し込み方法などの正式なお知らせは9月ごろを予定しています。

宝塚市 ことばの祭典 2023

令和5年11月25日(土)

宝塚市立西公民館ホール(阪急小林駅徒歩3分)

第1部 俳句バトル(句会ライブ) 9:30~11:30

小学生・中学生 30名

俳人・坪内稔典さんとのゆる～くて楽しい句会。俳句をその場で作ってその場で選びあいます。小1から中3まで安心して楽しめます！保護者の皆さんの観覧席もご用意します。ぜひ、一緒に！「WEBで俳句中学生の部」の最終審査も行います！

第2部 ビブリオバトル 13:00~15:00

小学生10名、中学生・高校生5名

自分のおすすめ本を小学生は3分、中高生は5分で紹介するコミュニケーションゲーム。みんなが一番読みたくなった本が「チャンプ本」です。あなたも推しの本の魅力を語ってみませんか。毎年、熱戦が繰り広げられます。観覧にも、ぜひお越しください。いろいろな本に巡り合えますよ。

「たからっ子文芸だより ことばの森へ」の創刊号はいかがでしたか。



この俳句は中学生がつくったんでしょ？すごいね。中学生も俳句を詠むんだね。



そうなんです。去年開催した「ことばの祭典中学生 WEBで俳句」ではなんと市内中学生の2054人が投句して、3189句も集まりました。

阪急阪神HDさんのご厚意で、作品を展示できるようになりました。阪急電車を利用している多くの皆さんの目に触れてほしいです。



次の展示はいつですか？

展示の入れ替えや「ことばの森へ」の発行は不定期です。できるだけどんどん紹介しますから次を楽しみにしてください。ちなみに次の作品は「手にアイス」…つづきはお楽しみに！



おお！楽しみ！

この展示や「ことばの森へ」に関するお問い合わせ、ご感想等がございましたら、宝塚市教育委員会学校教育課(電話0797-77-2028)までお願いします。今後いっそう内容を充実させていきます。

